

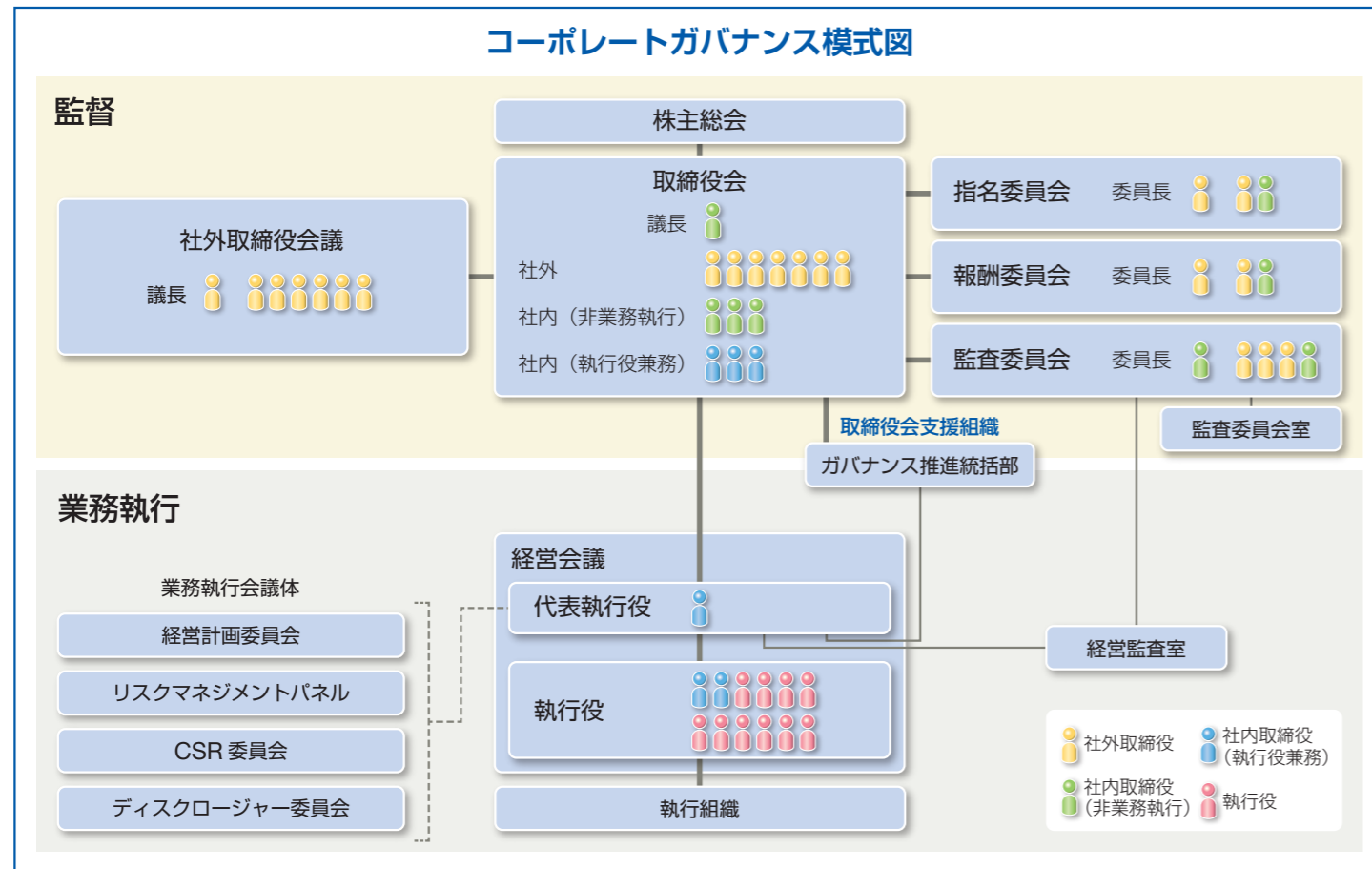
コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンス体制

荏原は、「創業の精神」、「企業理念」、「荏原グループCSR方針」から構成される「荏原らしさ」を当社グループのアイデンティティ／共有すべき価値観と定め、この「荏原らしさ」のもと、持続的な事業発展を通じた企業価値の向上及び株主への利益還元を

経営上最も重要な事項と位置付け、その実現のために、常に最良のコーポレートガバナンスを追求し、その充実に継続的に取り組めます。

2016年6月27日現在



コーポレートガバナンス体制一覧表		
形 態	指名委員会等設置会社	
取 締 役 の 人 数	14名	
	うち非業務執行の取締役(社外取締役を含む)	11名
	うち独立社外取締役の人数	7名
	うち女性	2名
委 員 会 構 成 の 特 徴	各委員会は社外取締役を過半数とし、委員会を兼務しない構成	
執 行 役 の 人 数	13名(代表執行役を含む)	
	うち女性	0名
取 締 役 ・ 執 行 役 へ の インセンティブ付与の施策	業績連動型報酬制度の導入 ストックオプション制度の導入	

詳細は統合報告書へ >>>

中期経営計画 E-Plan2016

荏原グループが目指すもの

中期経営計画E-Plan2016では、事業活動の発展を通じて「世界トップクラスの産業機械メーカーの地位を確保する」ことをグループ共通の中長期的目標としています。

荏原グループのありたい姿

- 世界的規模で事業展開を行う中で、グローバルに存在感を発揮する高収益体質を構築します。
 - 各事業領域において確固たる地位を構築します。特にポンプ事業においては、M&Aも経営の選択肢と捉えたうえで、世界シェアトップ3メーカーとしてのポジションを確保します。
 - 性別、国籍等によらず個々の従業員の能力を伸ばし最大限に発揮させるための環境の整備、及び発揮された能力に相応しい対価で報いるための制度を導入します。
- (2019年度末時点を想定)

グループ基本方針

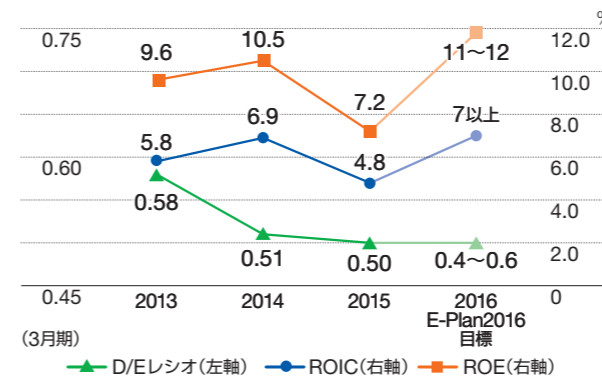
- 市場の成長を確実に当社ビジネスに取り組むこと
- 製品・プラントのライフサイクル全体を対象とするサービス業たること
- 産業機械メーカーとしてのCore Competence(技術力)を継続的に強化していくこと
- グローバル事業展開を支えるインフラの拡充を図ること

E-Plan2016 — 2年目の主な成果(グループ全体での進捗)

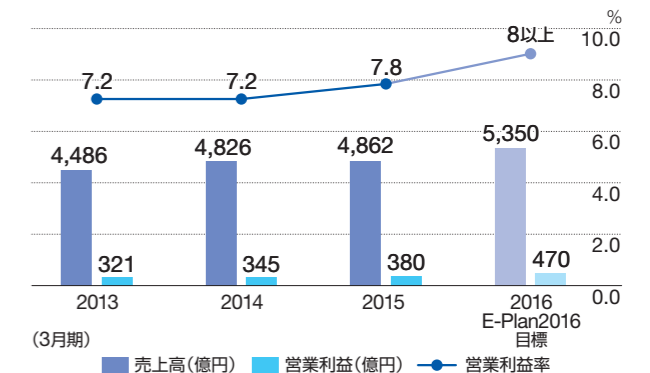
重要経営指標

当社グループでは、投下資本利益率(ROIC)を「重要経営指標」と位置付けており、達成すべき目標値として、7%以上を設定しています。この目標値を、財務の安定性と資本の効率的な利用の両面から偏ることなく達成していくために、安定性指標としてのD/Eレシオと、効率性指標としての自己資本利益率(ROE)を経営管理上留意すべき指標と位置付けています。

ROIC等の推移



売上高営業利益率の推移



E-Plan 2016 >>>